

小学校

教科【社会】

単元【わたしたちの県のまちづくり】

主体的・対話的で  
深い学びのポイント

ICTを活用して、調べたことや考えたことを互いに交流することで、自分の考えを広げ、深める。

ICT活用のポイント

調べた情報をクラウドで共有し、グループで内容を協議することで、北海道の特色が分かるガイドマップを作成することができる。

使用する  
ICT機器

PC、タブレット等

使用するアプリ・  
クラウドサービス等

G Suite（スライド）等の共同編集が可能な授業支援クラウド

クラウド  
の活用
教材の配布・回収等  
児童の学習状況の把握  
資料等の共有  
その他（ ）
本時の  
ねらい

北海道の位置や人々の活動、産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、ガイドマップを作成することができる。

主な学習活動  
(学習場面)

ICTの活用・留意点等

評価

導入

○単元の学習問題と前時までの学習内容を確認する

一斉

○本時の学習課題を捉える



指針2

クラウド



ICT機器



前時までの学習内容を基に、北海道の様子と特色を紹介するガイドマップの作成に向けて、見通しをもつ。

展開

○他県の人に北海道の様子と特色を紹介するガイドマップを作成する

協働

○作成途中のガイドマップを交流する

協働



指針3

クラウド



ICT機器

他県の人に分かりやすく伝えることができるよう、他の児童と話し合いながら、ガイドマップで扱う内容を検討する。

・ガイドマップについては、これまでの学習で収集した写真等を白地図に貼り付け、簡単なキャプションを付けるなど工夫しながらプレゼンテーションソフトやワープロソフトで作成する。

ここで評価



作成途中のガイドマップを全体で交流する。

クラウド



各グループのガイドマップを全体で把握できるように、プロジェクターで投影する。



ICT機器

【思】北海道の位置や人々の活動、産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。

終末

○本時の振り返り

個別



次時に向けて、グループで作成したガイドマップを見直し、内容を検討する。

クラウド

※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。

※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせることが重要です。

※ 評価の観点 【知】=知識・技能 【思】=思考・判断・表現 【態】=主体的に学習に取り組む態度